

戦略3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり

計画期間 令和元年度～令和5年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 企画政策部

基本的方向

- 家庭や学校、職域、地域などで、生涯を通して積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。
- 生活習慣病の重症化予防や食育活動、生涯学習の推進、運動習慣の定着など、幼年期から高齢期まで健康に根ざした取組を支援します。
- 進んで健康的な生活習慣を実践する健やかで活力に満ちた市民の増加をめざします。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向けた取組を推進します。

戦略を構成する具体的施策の事業費推移

名 称	実績						予算額			
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
(1) 健康増進活動の推進	23,936	千円	27,804	千円	29,641	千円	17,390	千円	18,275	千円
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	139,328	千円	119,184	千円	167,637	千円	166,612	千円	180,445	千円
計	163,264	千円	146,988	千円	197,278	千円	184,002	千円	198,720	千円

戦略実現に向けての数値目標

◆数値目標(1) 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
86.6	85.2	88.1	78.0			90.0

◆数値目標(2) 過去1年間に健康診査を受けた市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
66.7	66.0	63.5	63.7			70.0

◆数値目標【基盤】 日頃の生活の中で地域の人との交流がある人の割合(高齢期)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
48.8	41.9	28.9	30.4			55.0

◆数値目標【推進機能】 江別市の情報発信力が高いと思う市民割合(健康に関する情報)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
45.4	51.5	48.8	50.5			50.0

具体的施策（１） 健康増進活動の推進

健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、市民が家庭、学校、職域、地域などで、生涯を通して、積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。

◆重要業績評価指標（KPI） 健康づくり事業への参加者（単位：人）

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
9,927	9,851	2,867	2,488			10,000

<令和5年度の方針>

健康増進活動の推進に当たっては、市民一人ひとりが生涯を通じて学び、こころと体の健康に関心を持ち続けるとともに、地域とのつながりを大切に、健康づくりの輪を広げていくことが重要です。
 こうしたことから、令和5年度は、基本的な感染対策を継続しつつも定員の拡大などを図り、小中学校における喫煙予防や生活習慣病予防教室の開催、健康づくり推進員等による地域に根差した健康づくり活動を推進するほか、ゲートキーパー講座を開催するなど、こころと体の健康づくり活動を推進します。
 このほか、令和5年度は「えべつ市民健康づくりプラン」「江別市自殺対策計画」が計画期間の最終年度となることから、次期計画を策定します。
 また、江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向け、札幌盲学校跡地の一部を活用した拠点地域「ココルクえべつ」を中心に、就労や社会活動、住まい、介護などが一体的かつ継続的に提供されるとともに、感染対策に留意しながら、地域との交流を推進します。

<課題>

- 子ども期から正しい生活習慣を身に付ける
- 自らの健康について関心を持つ市民の増加
- 運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
- 生涯活躍のまちの認知度向上と生涯活躍のまち形成事業計画の推進

<取組の概要>

- ・保健師や看護師等による小学校での「喫煙予防教室」や、中学校での「生活習慣病予防教室」を開催
- ・E-リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
- ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員、健康づくりサポーターと連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
- ・生涯活躍のまち拠点地域の市民周知と来訪者増に向けた取組の推進

事務事業	成果指標	令和3年度	令和4年度(予算)	令和5年度(予算)	備考
健康づくり推進事業	こころや体の健康づくりに関する講座、教育、相談の参加人数	788 人	3,130 人	2,115 人	左記事業費は、健康相談経費2,529千円を含む。
	地域健康づくり推進員事業参加人数	157 人	800 人	1,120 人	
	事業費	5,877 千円	7,209 千円	9,018 千円	
健康教育事業	健康教育事業参加者数	1,700 人	3,423 人	3,339 人	
	事業費	252 千円	1,155 千円	706 千円	
生涯活躍のまち整備事業	拠点地域内施設の利用者等の数	572 人	557 人	738 人	
	事業費	8,845 千円	9,026 千円	8,551 千円	

具体的施策（２） 疾病予防・重症化予防の促進

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診の推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化の予防に努めます。

◆重要業績評価指標（KPI） 過去１年間にがん検診を受けた市民割合（単位：％）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
39.8	37.0	32.1	35.1			45.0

<令和５年度の方針>

みずからの健康を守るため、進んで自分の健康状態を確かめるとともに、バランスのよい食事や適度な運動により、正しい生活習慣を守ることが必要です。

健康都市推進事業の「健康フェスタ」は令和２年度から中止が続いていますが、感染症の動向を踏まえながら、開催のあり方も含めて検討していきます。また、食からの健康づくりを進めるため、野菜摂取の取組を推進し市民意識の向上を図っていきます。

各種健（検）診では、令和４年度は、感染対策を講じながら健（検）診機会の確保に努めたことから、受診率はコロナ禍以前の状況に回復しつつあります。令和５年度はこれまでの対策を継続しつつ、健（検）診の必要性や受診方法等の周知を工夫し、更なる受診率の向上に努めます。

また、高齢者の医療・介護・保健データを一体的に分析し、個別支援や健康教育を行うことで健康寿命の延伸を図ります。

<課題>

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

<取組の概要>

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・検（健）診申込窓口の一元化、WEB予約の導入による受診しやすい環境の整備
- ・生活習慣病予防に効果のある野菜摂取推進の取組を実施
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施
- ・高齢者の保健と介護予防を一体的に実施

事務事業	成果指標	令和３年度	令和４年度(予算)	令和５年度(予算)	備考
健康都市推進事業	健康のために心がけていることがある市民割合	78.0 %	89.0 %	89.0 %	
	事業費	837 千円	1,757 千円	3,531 千円	
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	11.1 %	13.0 %	14.0 %	
	事業費	69,570 千円	86,905 千円	90,817 千円	
特定健康診査等事業【国保特会】	特定健診受診率	25.1 %	25.6 %	28.1 %	
	特定保健指導利用率	37.3 %	44.1 %	46.4 %	
	事業費	61,368 千円	65,807 千円	73,835 千円	
一般介護予防事業【介護特会】	介護予防出前講話の受講人数	362 人	1,200 人	1,200 人	
	通いの場等での専門職講話の受講人数	0 人	320 人	320 人	
	事業費	3,979 千円	6,880 千円	6,874 千円	
高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業	専門職派遣による健康教育・相談延べ人数	120 人	800 人	1,135 人	
	重症化予防等の個別支援実施人数	135 人	600 人	350 人	
	事業費	2,820 千円	5,263 千円	5,388 千円	

